

平成27年10月22日

ニセコ町自治創生女子会

～ニセコのこと、あなたのこと、みんなのことを
お話ししませんか？～

ニセコ町 自治創生室自治創生係

本日の内容

1. 「地方創生」が目指すもの
2. ニセコ町の人口分析結果（速報版・抜粋）
3. 会場のみなさんで意見交換

本日のアプローチ

- 二セコ町が人口減少社会を克服し、将来にわたって豊かで魅力ある町をつくるため 「女性の視点からの意見」をお聞きします。
- 二セコ町で 住んでみて良かったこと、不便や不安を感じていること、結婚・出産・子育て環境など、実際に暮らしている皆さんでお話ししましょう！
- (時間が許せば) より暮らしやすい町になるために必要なことは何かをみなさんでお話ししましょう！

1. 「地方創生」が目指すもの

人口減少の要因「人口一極集中」

地方の若者が、出生率が低い都市圏（特に東京）へ流れてしまう「人口一極集中」により、日本の人口減少が進んでいる。

地方の若者が都市圏に流れる

- ✓ 都市圏なら仕事がある
- ✓ 都市圏なら高校・大学がある
- ✓ 都市圏なら結婚の出会いがある
- ✓ 都市圏の方が楽しそう

地方

都市圏

【自然減】 出産・子育て環境が悪く、子どもが増えない
【社会減】 地方の子どもが増えず、都市圏への流れも減少

【自然減】 若者が地方に残らないと、子どもが増えない
【社会減】 地方の魅力を支える人材が不足し、地方への移住者も増やせない

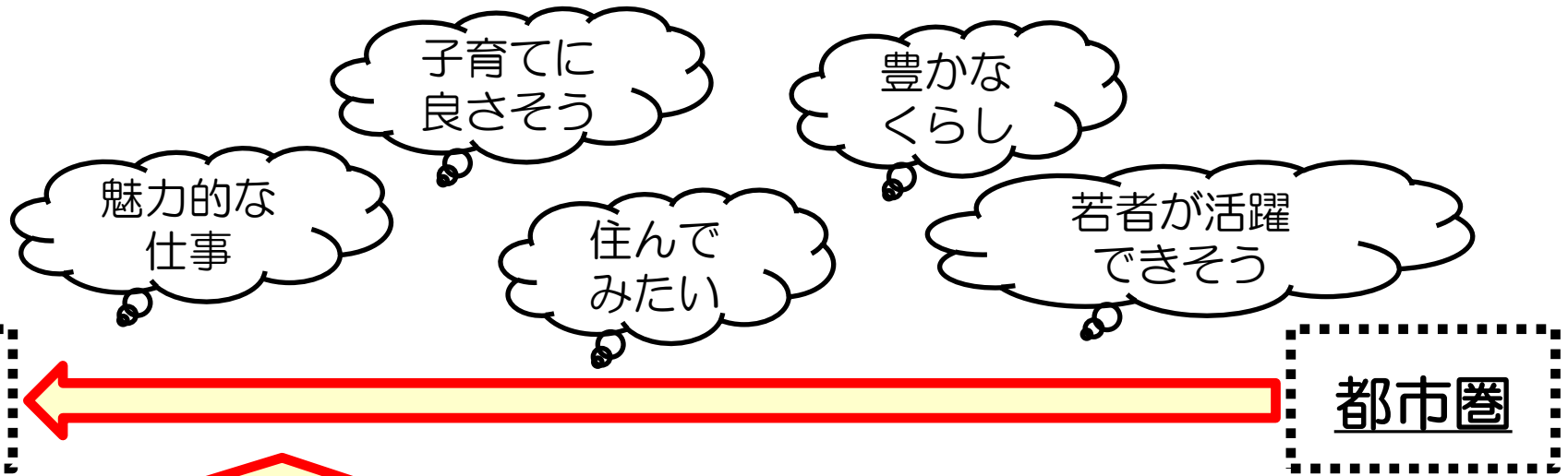
人口減少



地域の基盤産業や社会福祉等を支える人材確保が困難になる
インフラ（上下水道、道路等）の維持が困難になる 等の影響

「地方創生」が目指すもの（人口減少の克服）

- 「地方創生」は、人口減少に歯止めをかけ、都市圏への「人口一極集中」を是正することによって**人口減少の克服**を目指している、オールジャパンの取組。
- 地方は、**自らの魅力や強み・弱みを客観的に捉えて戦略的に**、「まち・ひと・しごと創生」（雇用の創出、移住・定住支援、結婚・出産・子育て支援、人口減により影響への対応等）に取り組む。



1. 地方における安定した雇用を創出する 【雇用】
2. 地方への新しい人の流れをつくる 【移住による人口増（社会増）】
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 【出産による人口増（自然増）】
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 【人口減少への適応】

2. ニセコ町の人口分析結果（速報版）

- (1) 総人口
- (2) 人口の自然増減
- (3) 人口の社会増減
- (4) 雇用等

ニセコ町人口分析結果（概要）

人口

人口5,000人規模の町村では珍しく、近年は人口が微増傾向

【社会増】 転入数 > 転出数

- 10歳未満（子ども）や30～44歳（働き盛り）で、転入が転出を上回る
- 20～30代の移動（転入・転出の両方）が特に多い

【自然減】 出生数 < 死亡数

- 出生数は増加傾向にあり、合計特殊出生率は北海道全体を上回る
（合計特殊出生率：1.45（2008～2012））
- 増加傾向にある出生数を、死亡数が上回る

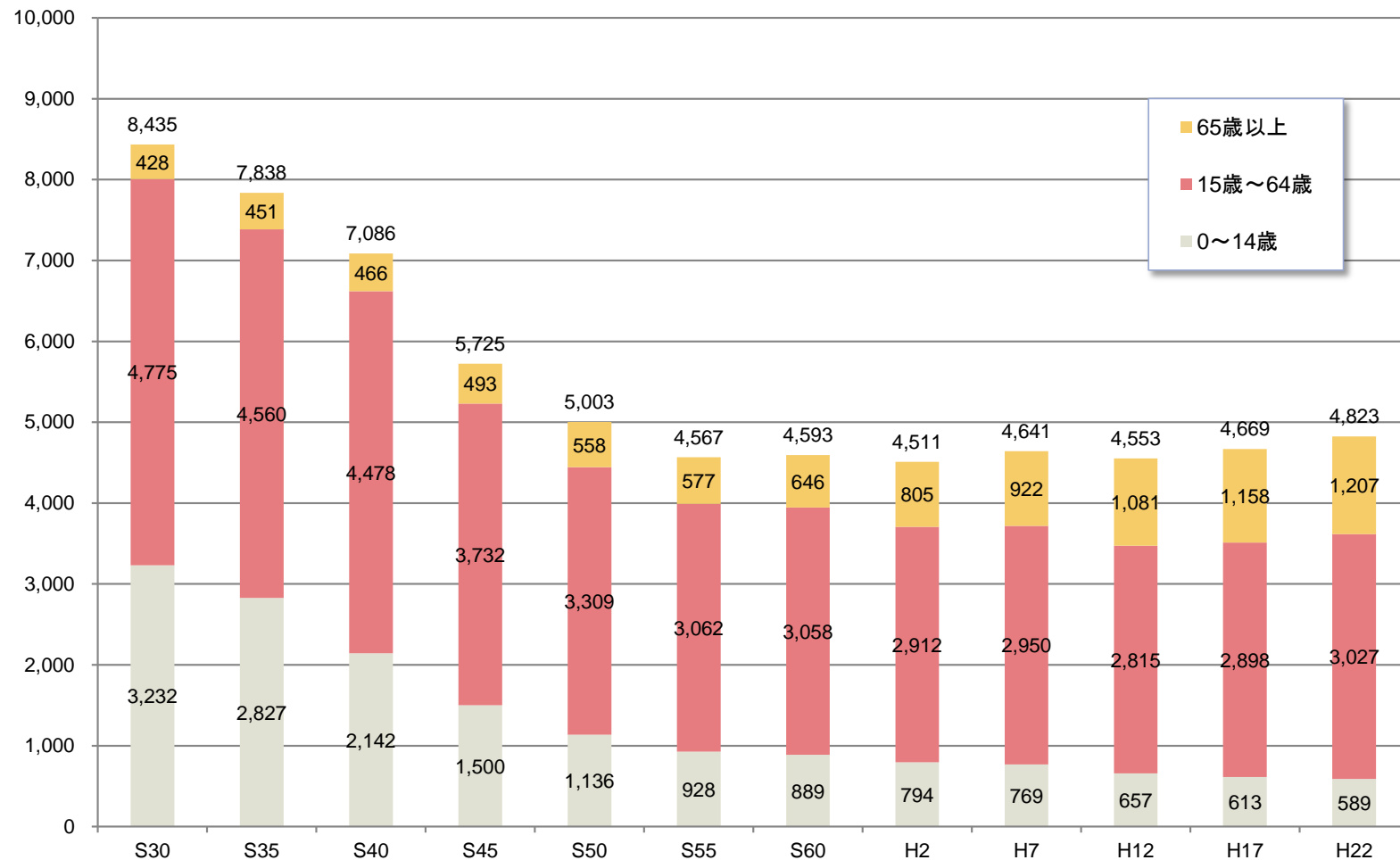
雇用

- 従業者数は「農業・林業」と「宿泊業、飲食サービス業（観光業）」が多い
- 正規職員割合が低く、完全失業者数・完全失業率とも増加傾向

2. ニセコ町の人口分析結果（速報版） （1）総人口

本町の総人口は、1980年以降横ばいから増加傾向で推移してきましたが、近年は増加傾向にあります

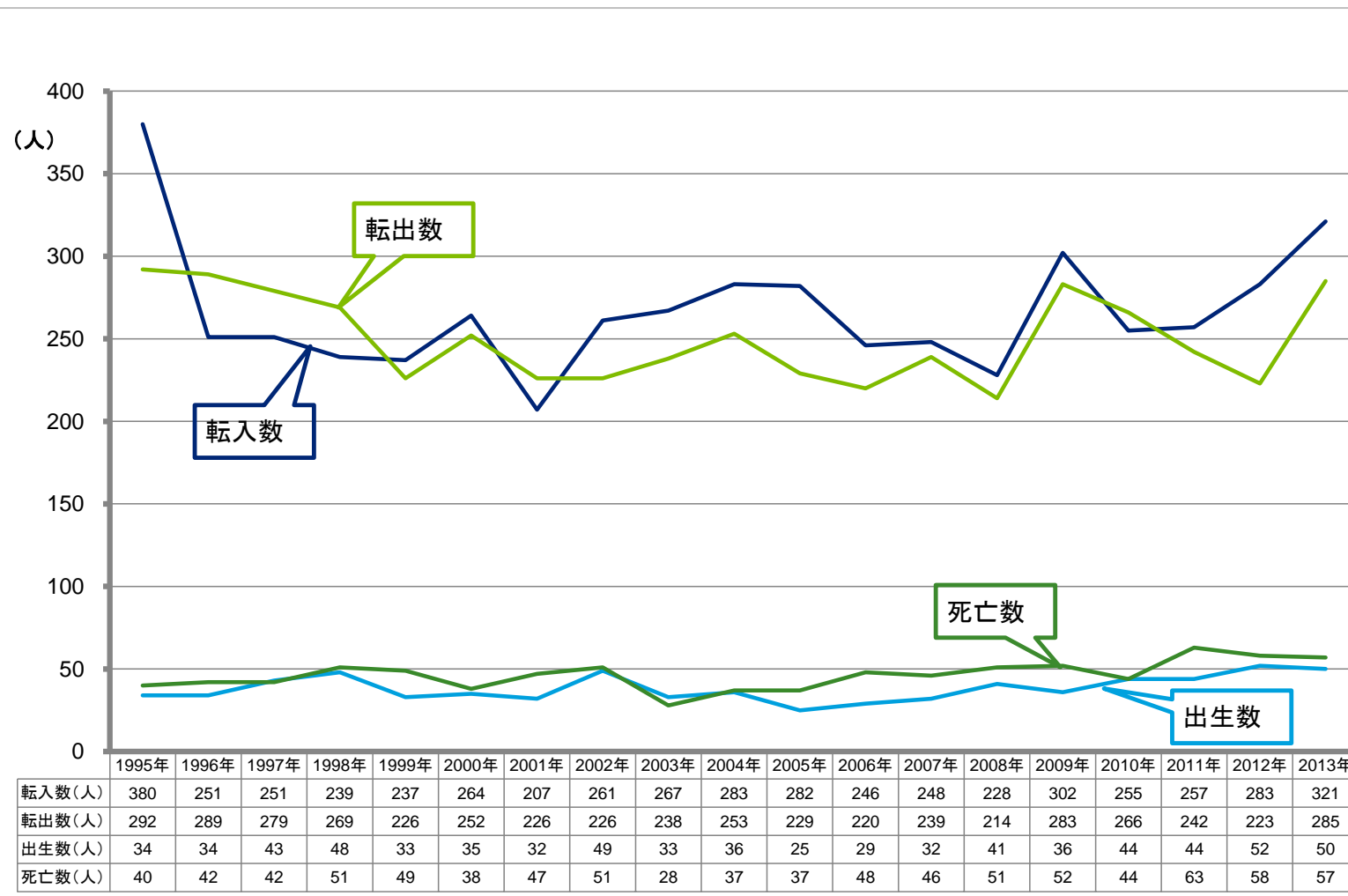
総人口の推移



出所：国勢調査(1955年~2010年)

本町の総人口は、社会増減は増減を繰り返し、自然増減はほぼ横ばいで推移しています

出生数、死亡数、転入者数、転出者数の推移



移住者を惹きつけている二セコ町の魅力とは何か？

全国的な人口減少、他自治体が移住・定住対策に本腰を入れていく。

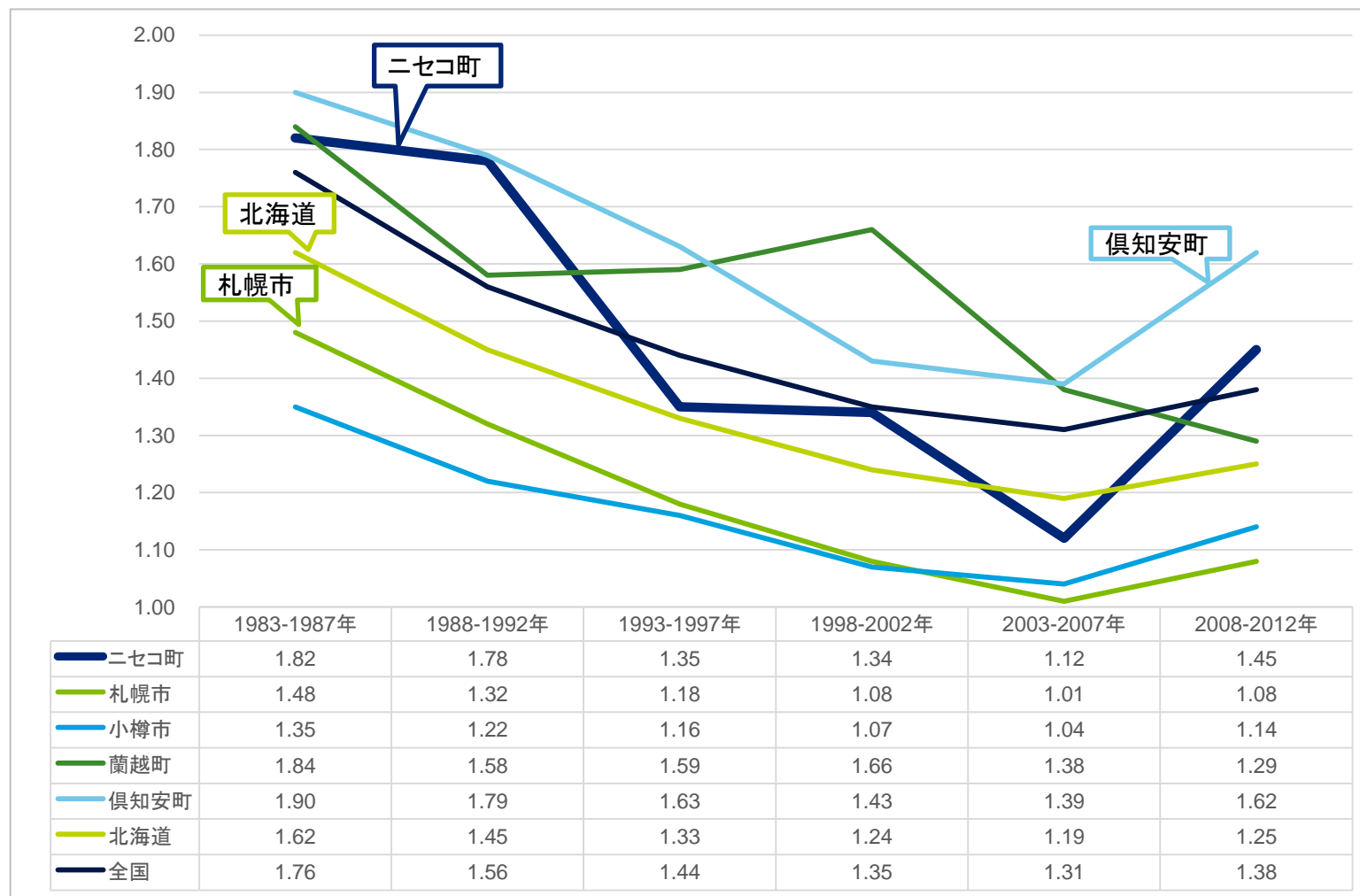
二セコ町の人口増加も、いつか勢いが弱まるおそれはないか？

出所：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査 ※RESAS（地域経済分析システム）を使用

2. ニセコ町の人口分析結果（速報版） （2）人口の自然増減

本町の合計特殊出生率は、2008 - 2012年で1.45と北海道水準よりも高くなっています

合計特殊出生率の推移比較

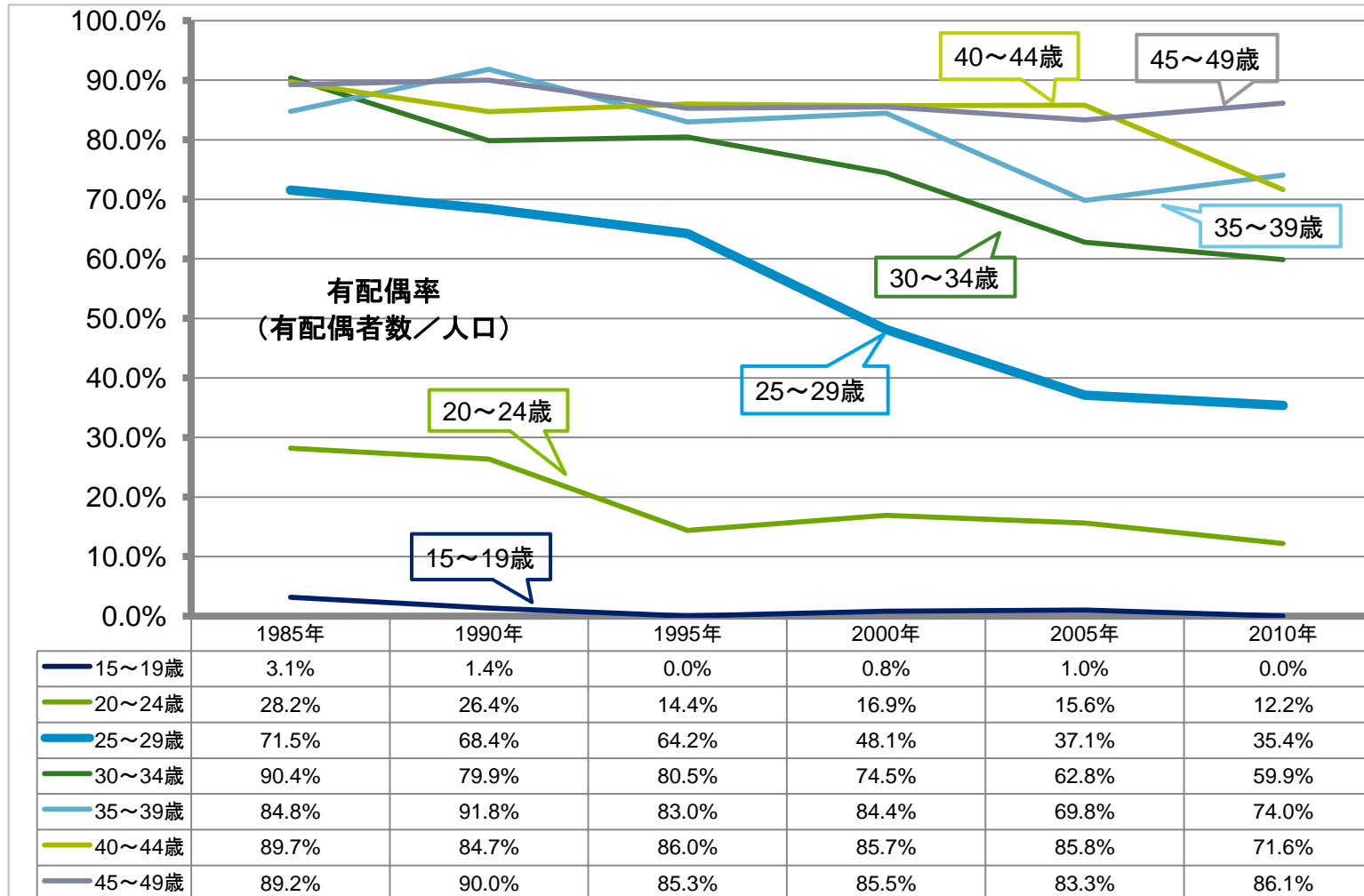


直近5年間で、
合計特殊出生率
が上がったのは
なぜか？

出所:人口動態調査(1983~2012年)

1985年と2010年とを比較してみると、全体的に女性有配偶率は低下していますが、特に25～34歳は30%以上も減少しています

年齢階級別女性有配偶率の推移

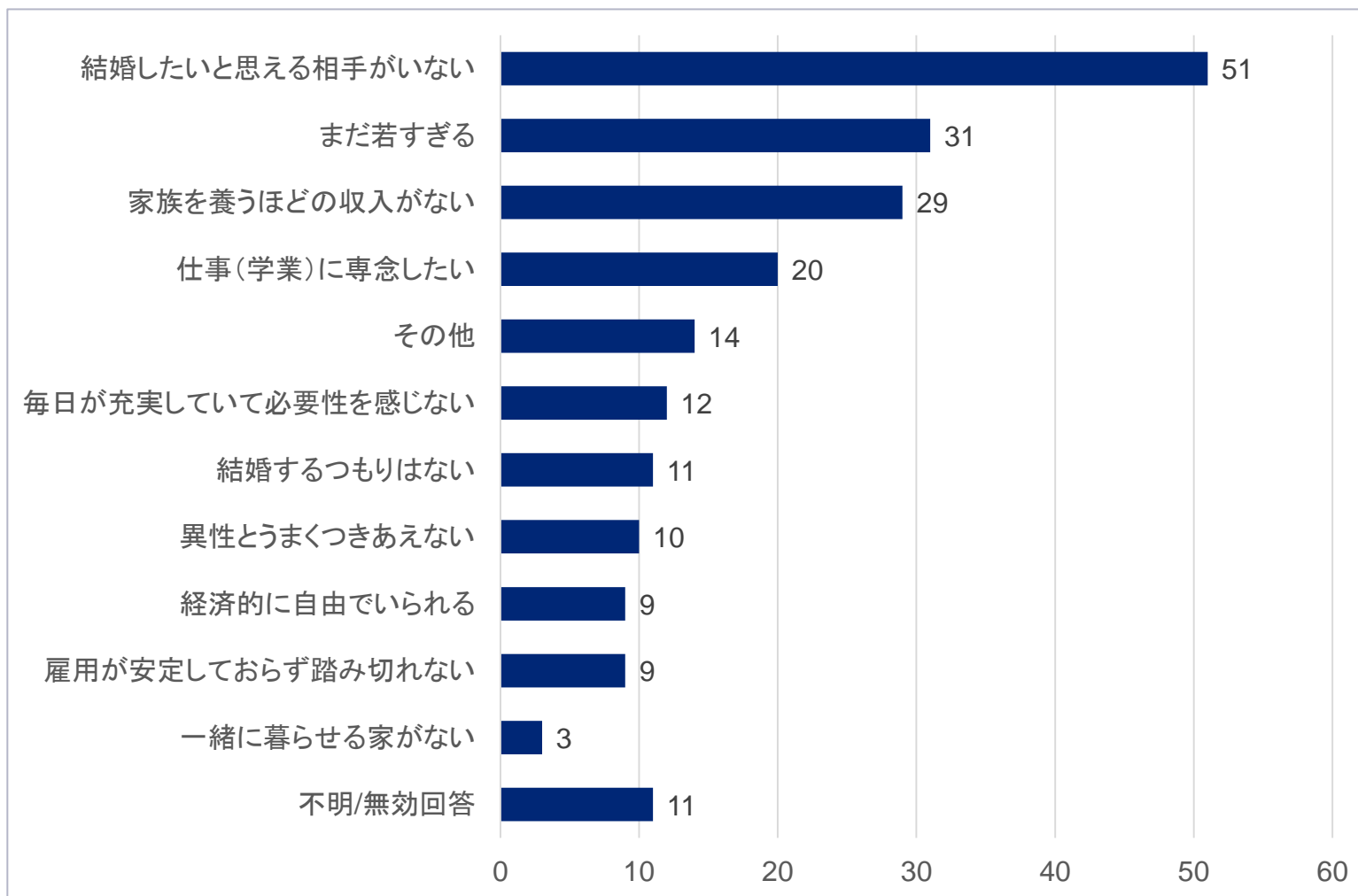


- 女性の有配偶率は、1985年と2010年を比較すると、すべての年齢層で低下しています
- 1985年と2010年を比較すると、20～24歳で約15%、25～29歳で約35%、30～34歳で約30%低下しており、若い女性の有配偶率の低下が著しいです

出所：国勢調査（1985年～2010年）

【問6】結婚していない理由としては、「結婚したいと思える相手がない」が最も多く、次に「まだ若すぎる」と回答した人が多くなっています

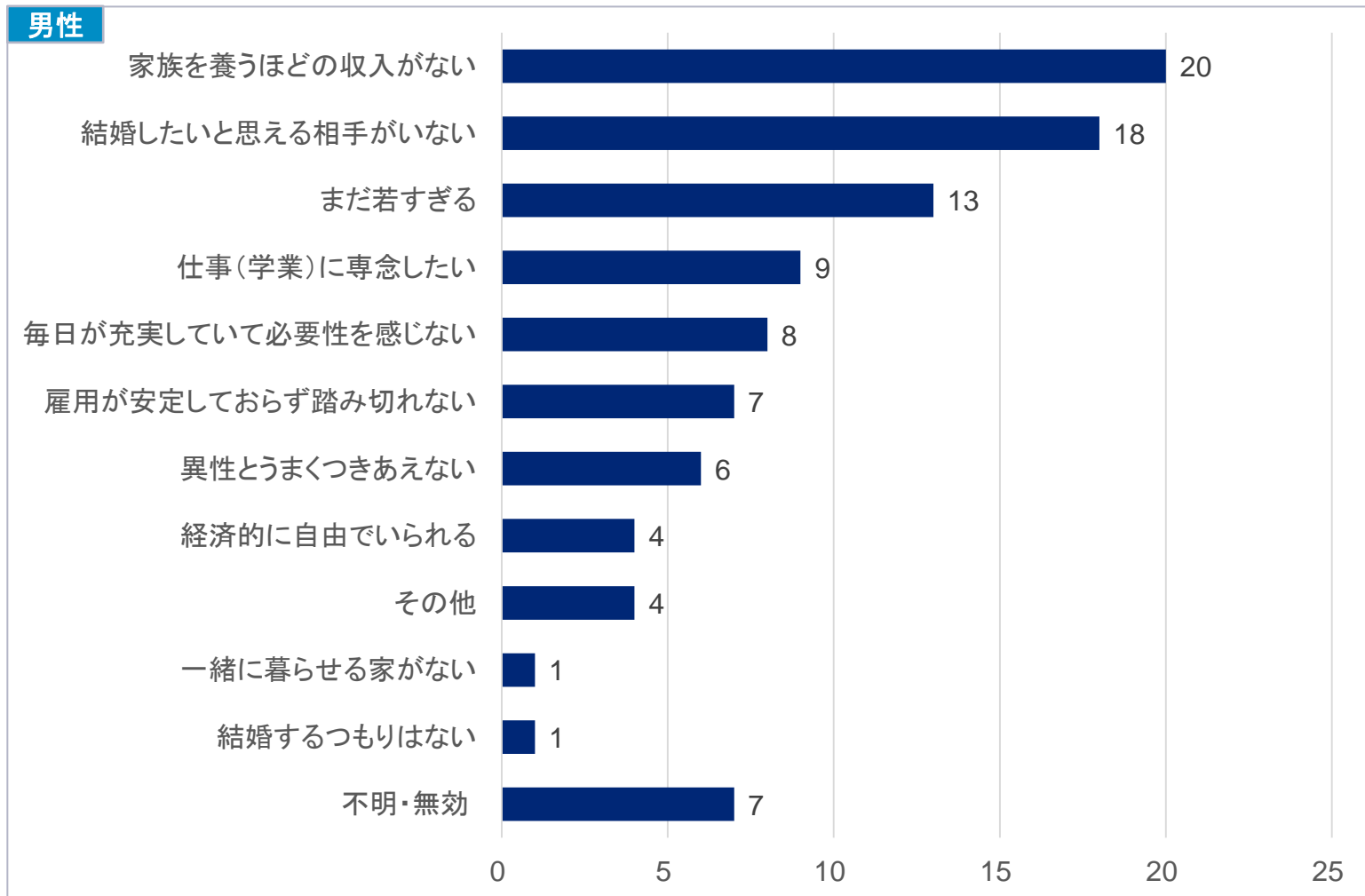
結婚をしていない理由(問5で1~3を選択した回答者、2つまで回答可)



出所: ニセコ町町民アンケート(日本人向け)

【男女別】結婚をしていない男性の理由としては、「家族を養うほどの収入がない」が最も多く、次に「結婚したいと思える相手がない」が多くなっています

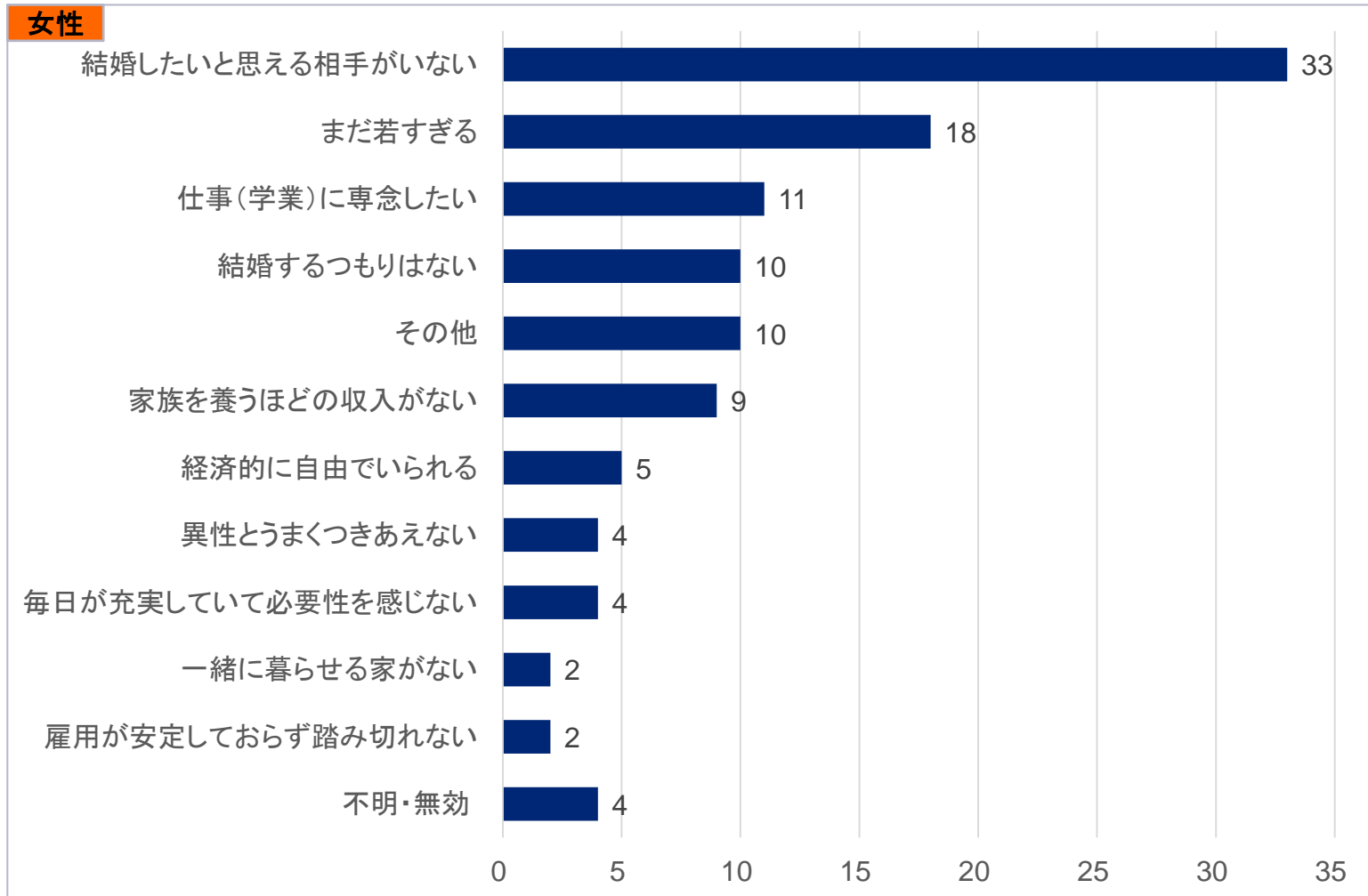
【男性】結婚をしていない理由(問5で1～3を選択した回答者、2つまで回答可)



出所: ニセコ町町民アンケート(日本人向け)

【男女別】結婚をしていない女性の理由としては、「結婚したいと思える相手がない」が最も多く、次に「まだ若い」が多くなっています

【女性】結婚をしていない理由(問5で1~3を選択した回答者、2つまで回答可)

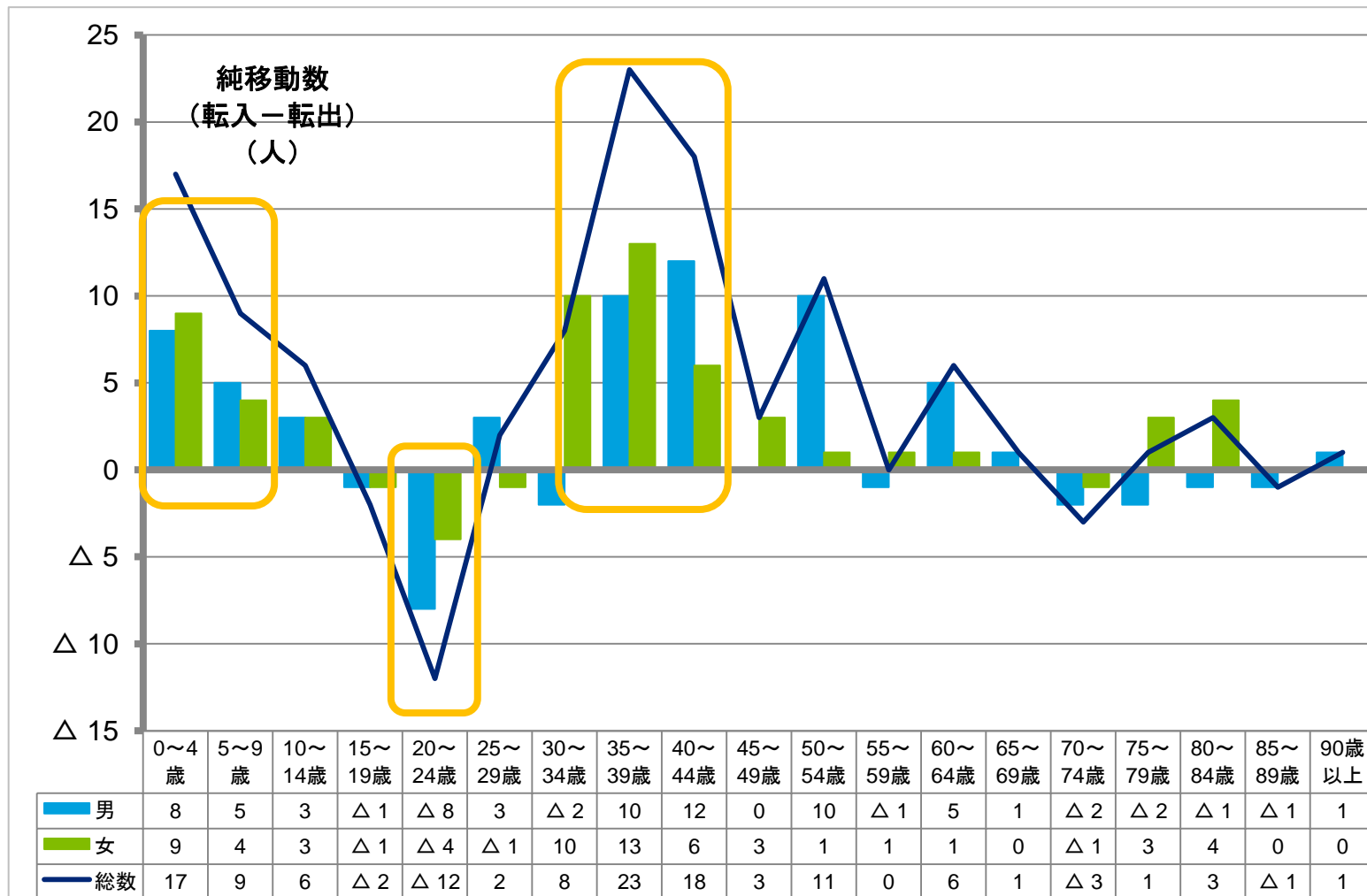


出所: ニセコ町町民アンケート(日本人向け)

2. ニセコ町の人口分析結果（速報版） （3）人口の社会増減

10歳未満や30～44歳の転入が多い一方で、20～24歳の転出が多くなっています

年齢区分別、男女別純移動者数



子育て世代が流入しているのはなぜか？

日本人？
外国人？

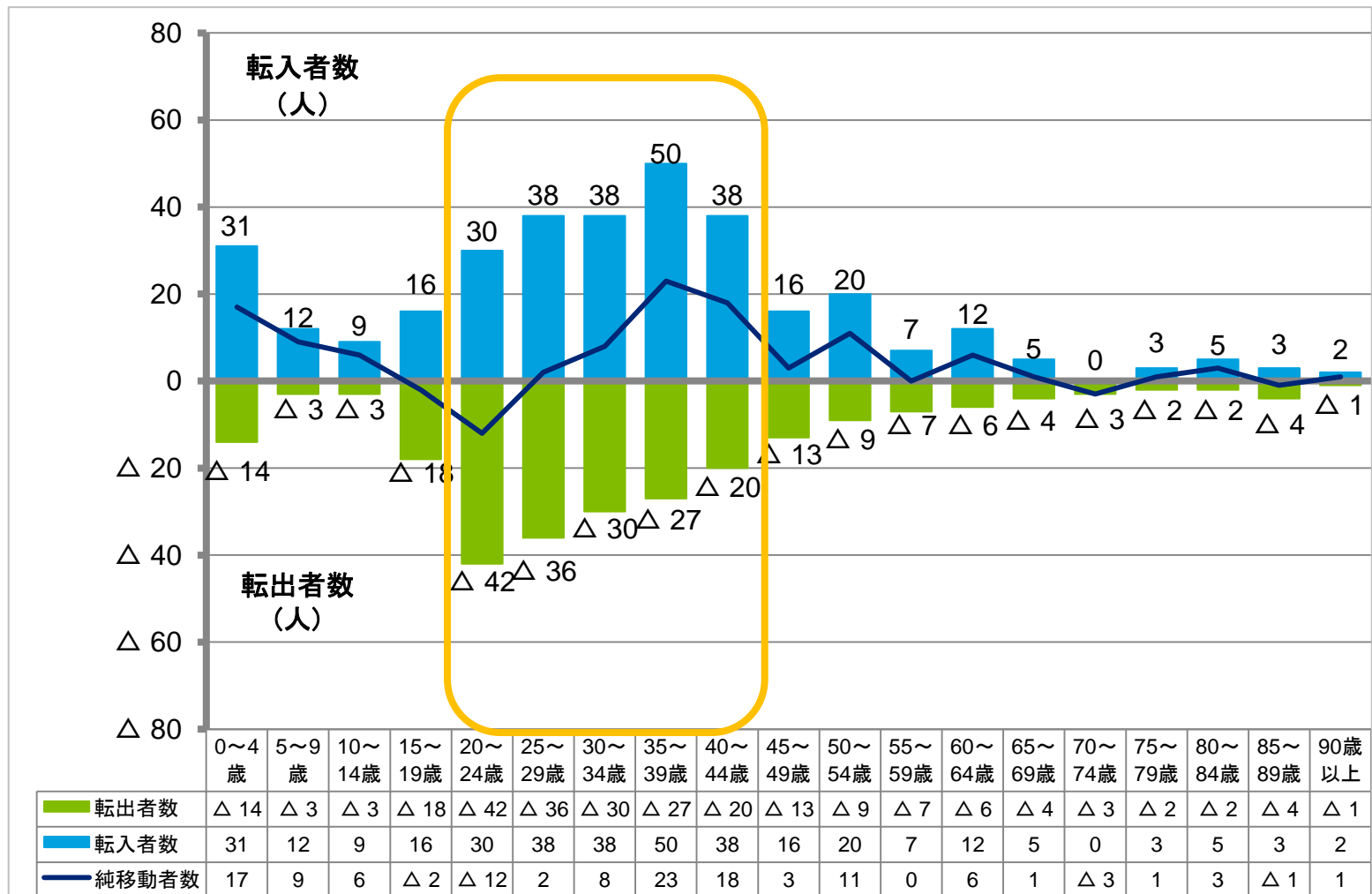
20代が流出するのはやむを得ない？

高齢者の転出が意外と少ない？
(除雪、買い物は？)

出所：住民基本台帳移動報告(2014年)

年齢区分別の住民移動を見ると、20～30代の移動(転入・転出)が多くなっています

年齢区分別、転入・転出者数



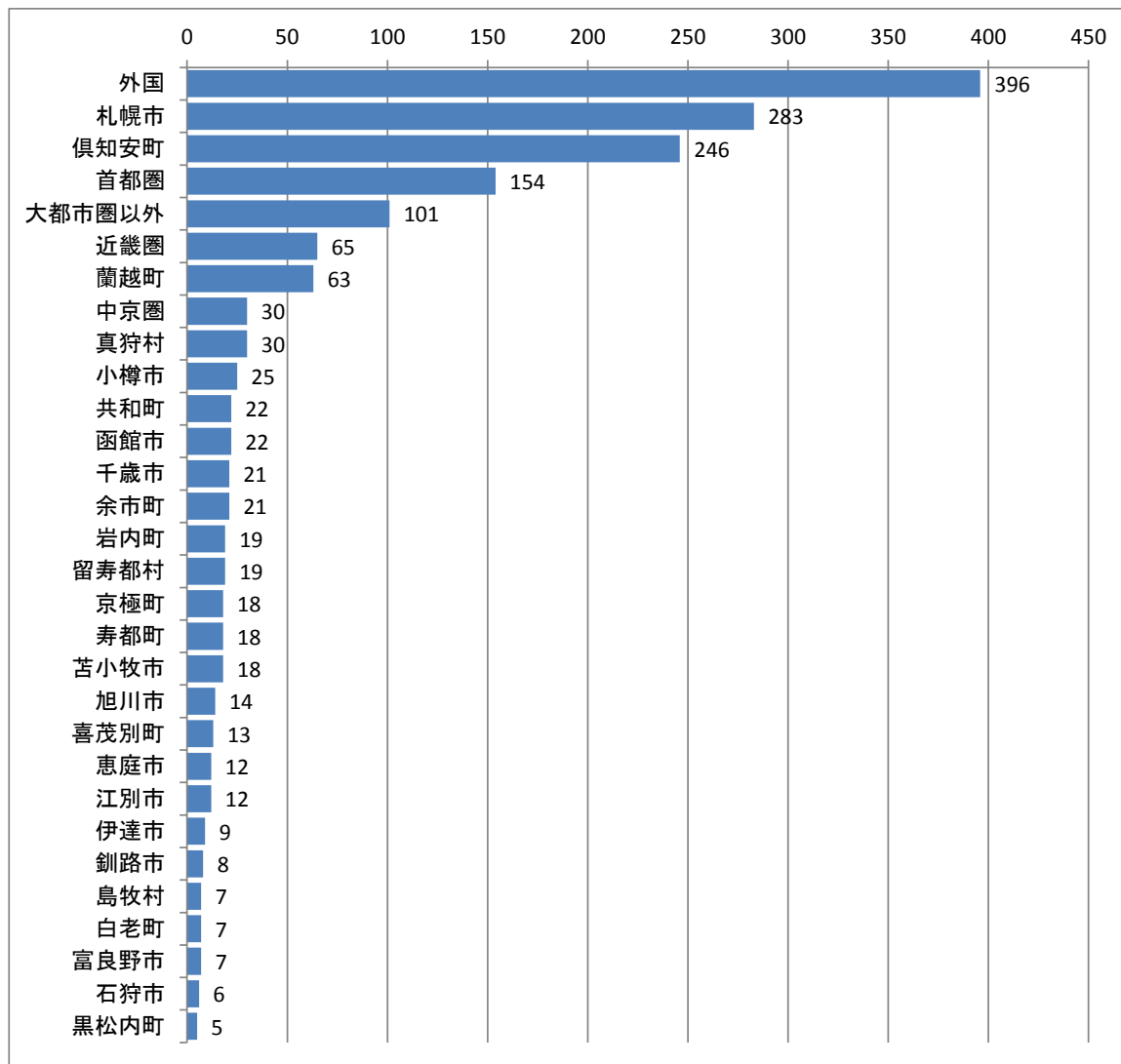
転入超過だが
転出者も多い。
二セコ町の人口
増加も、いつか
勢いが弱まるお
それはないか？

1年分だけで傾
向はつかめてい
るのか？

出所：住民基本台帳移動報告(2014年)

転入元で多いのは、国外、道外、札幌市、倶知安町です

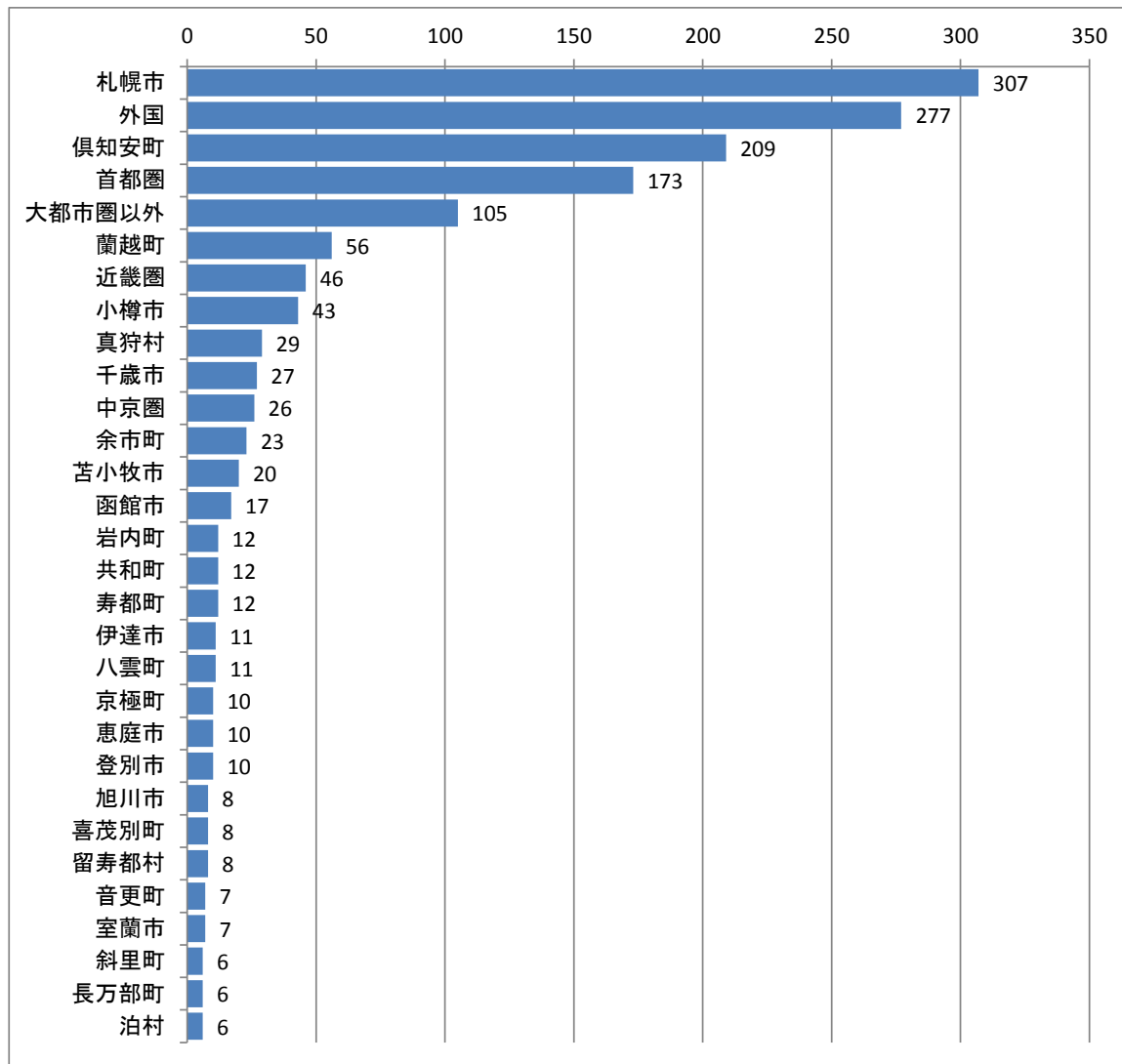
転入元（個人、平成21年度～25年度の5年間合計、住基台帳）



	転入数
国外	396人
道外	350人
(首都圏)	154人
札幌市	283人
倶知安町	246人

転出先で多いのは、道外、札幌市、国外、倶知安町です

転出先（個人、平成21年度～25年度の5年間合計、住基台帳）



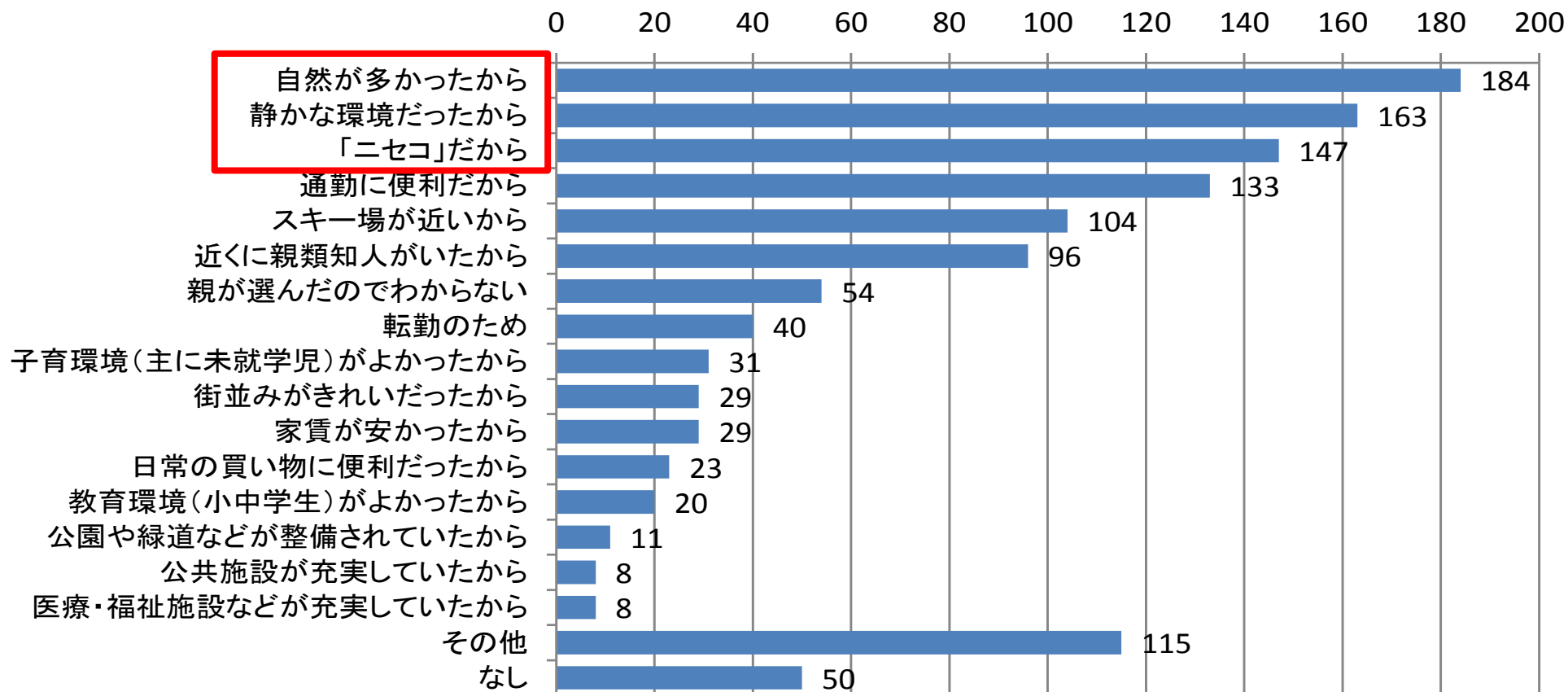
	転出数	増減
国外	277人	+119人
道外	350人	±0人
(首都圏)	173人	▲19人
札幌市	307人	▲24人
倶知安町	209人	+37人

転入超過：倶知安町、海外
→ニセコブランド？

転出超過：首都圏、札幌市
→転出理由は何か？
対策の重点地域？

ニセコ町の居住者は「豊かな自然環境」や「ブランド力(ニセコだから)」に惹かれています

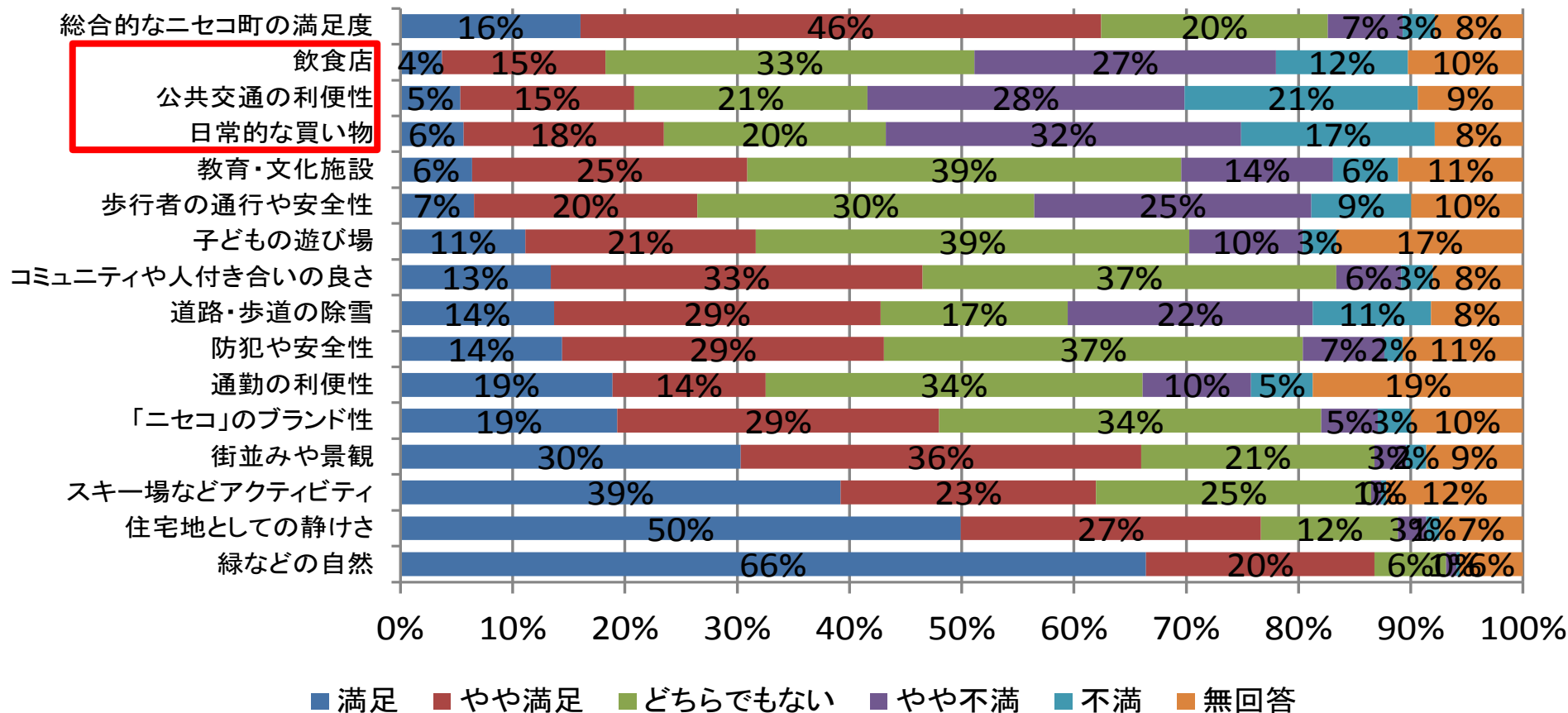
ニセコ町を選んだ理由 (複数回答、アンケート)



「ニセコだから」を構成する要素は何か？
(ニセコブランド)

ニセコ町の居住者の満足度が特に低いのは、「飲食店」「買い物」「公共交通」です

ニセコ町に居住しての満足度（アンケート）

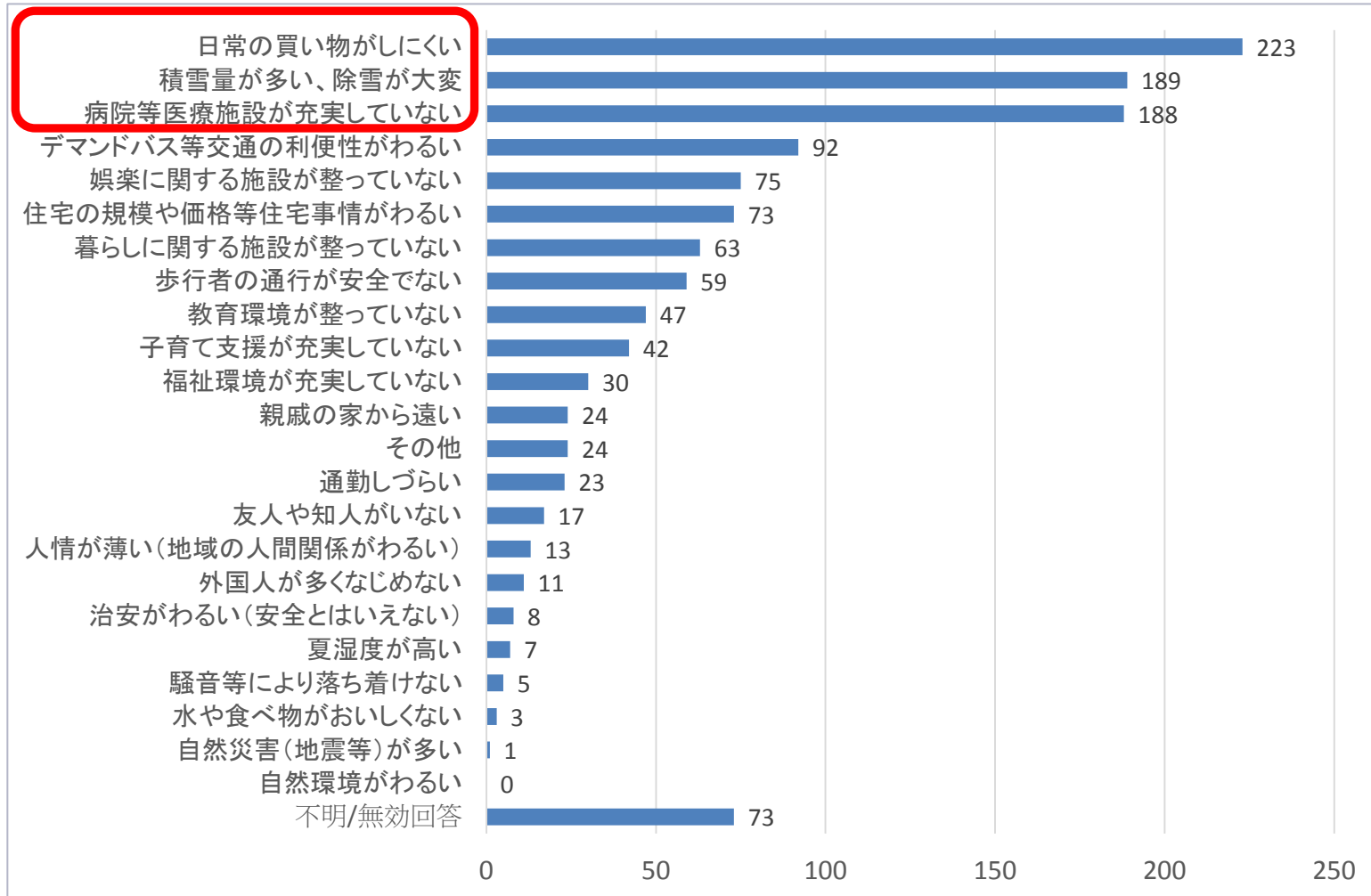


お店は広域的に確保できているとも言えないのか？

出所：ニセコ町「戦略的住まい・まちづくり」政策検討会議 平成26年度中間報告書（平成27年3月）

ニセコ町の居住者が感じる住みにくさの理由として、「買い物のしにくさ」、「積雪量の多さ」、「医療施設の不十分さ」が上位を占めています

ニセコ町が住みにくいと感ずる理由(3つまで回答可)

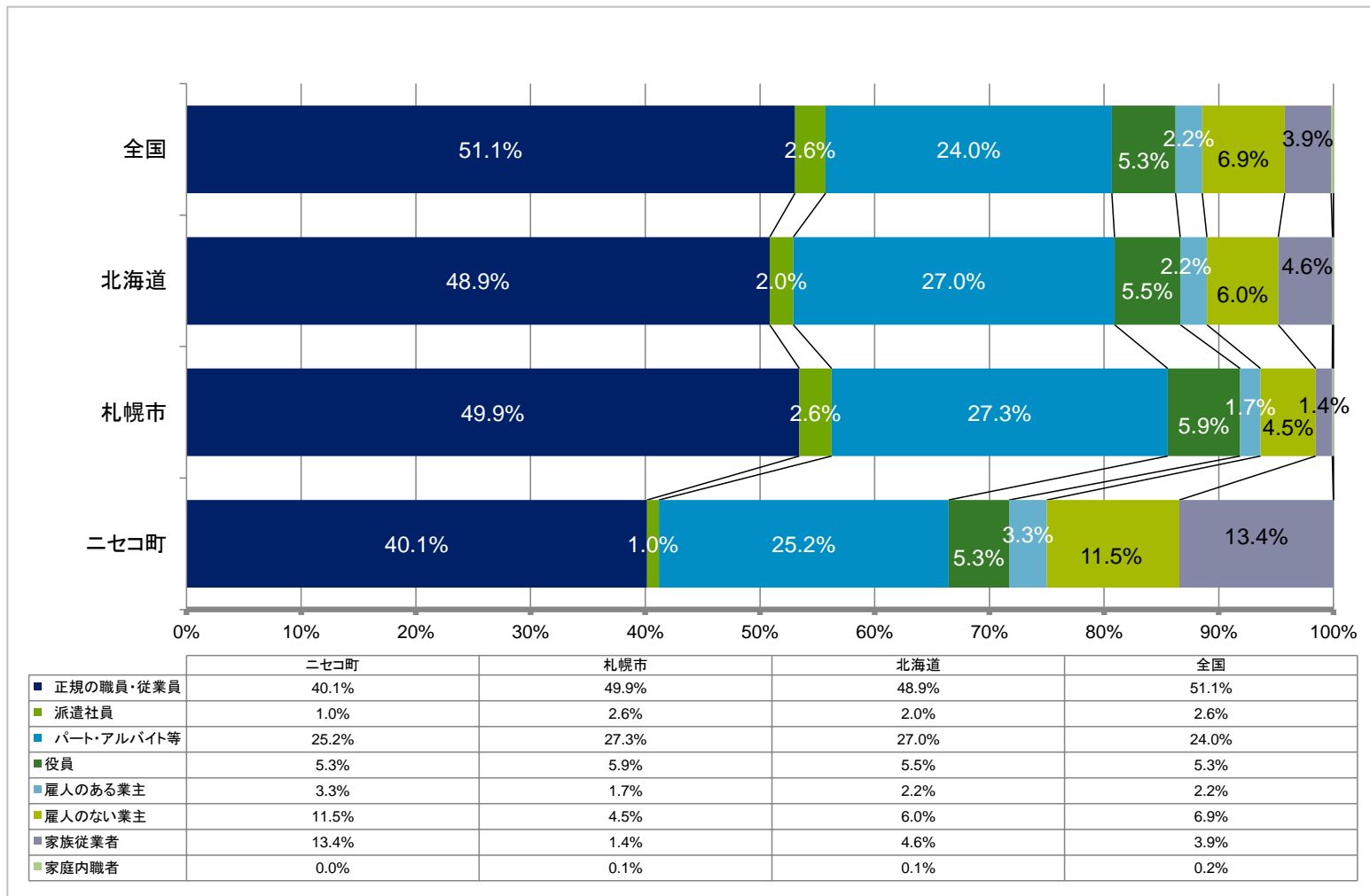


出所: ニセコ町町民アンケート(日本人向け)

2. ニセコ町の人口分析結果（速報版） （4）雇用等

本町の正規職員割合は、全国水準、北海道水準よりも下回っています

従業上の地位別従事者(総数)



■ 正規職員割合は、全国水準を11.0%、北海道水準を8.8%下回っています

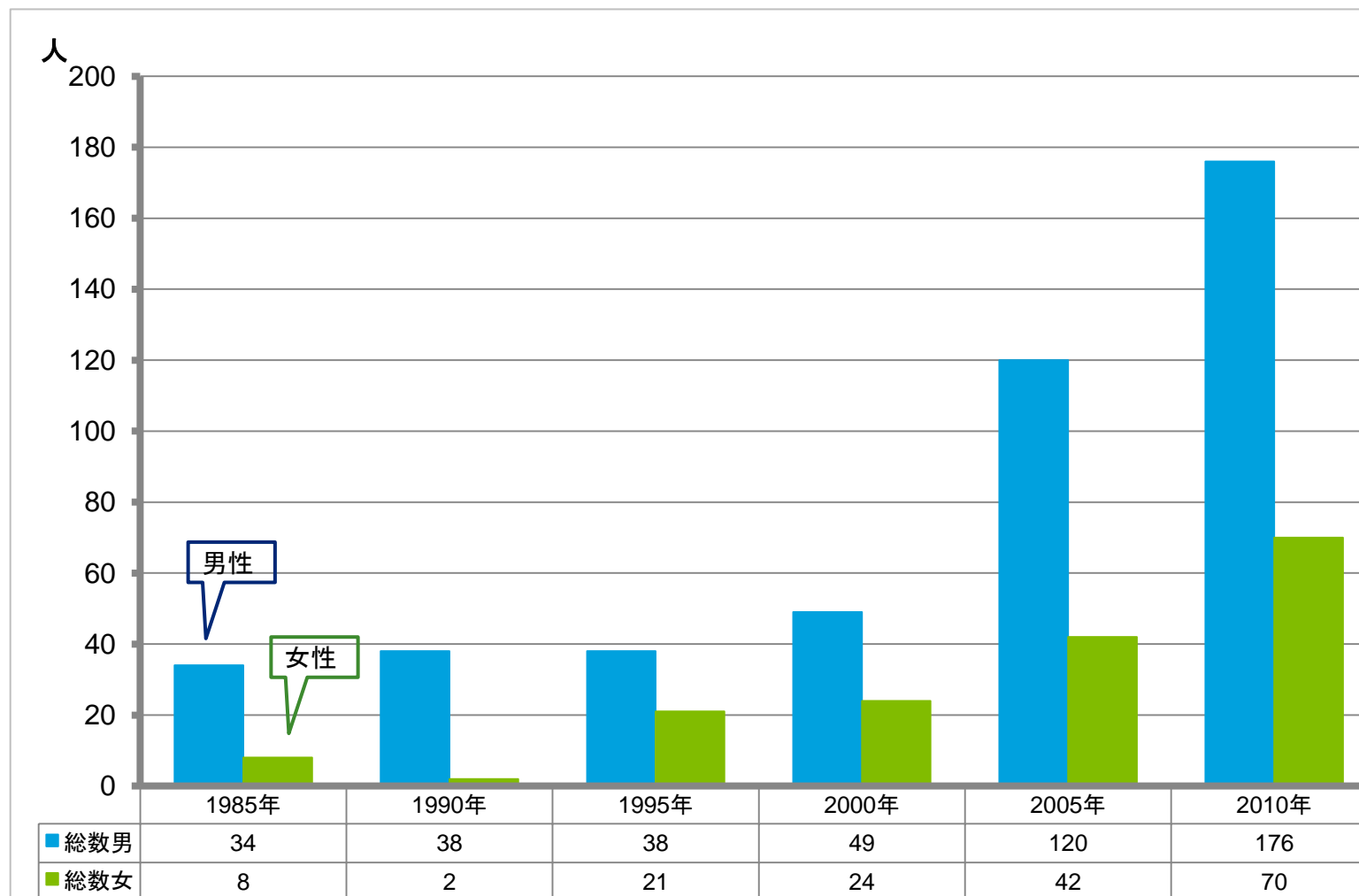
■ 一方で、雇人のいない業主は4.6%、家族従業者は9.5%で、全国水準、北海道水準を上回っています

正規雇用を増やすべきか？
 「家族従業者」「家庭内職者」とは何のこと？
 近隣町村と比べるとどうか？

出所: 国勢調査(2010年)

本町の完全失業者数は、男女共に1990年から増加しつづけています

男女別完全失業者数の推移



■ 本町の完全失業者数は、1990年から男女ともに増加傾向が続いており、2010年の男性の完全失業者数は176人、女性の完全失業者数は70人となっています

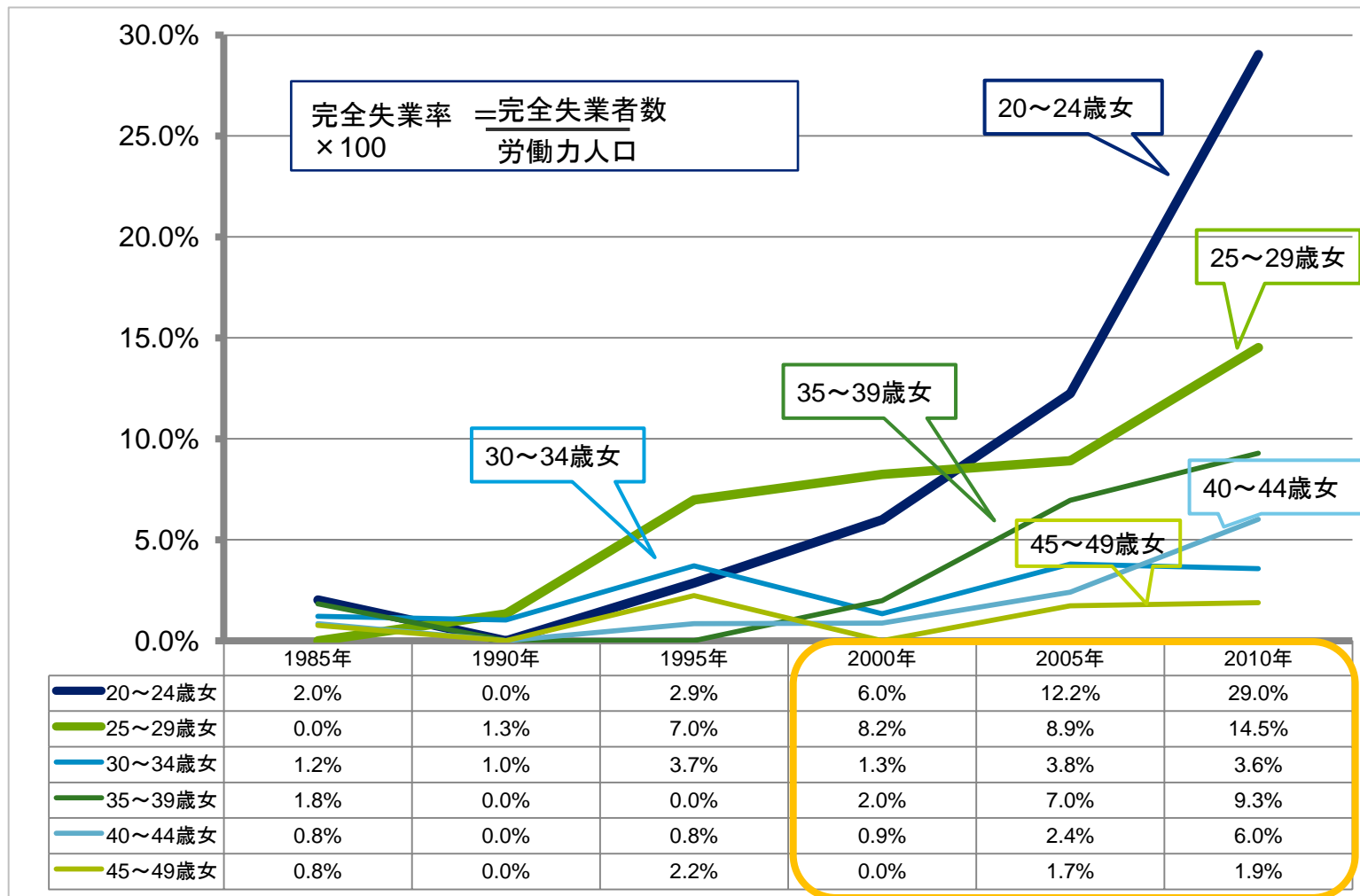
2000年頃、完全失業者が増えるような直接的な契機があったのか？

完全失業者の移住者がいる？

出所：国勢調査（1985年～2010年）

男性と同様に、完全失業率が2000年から2010年にかけて上昇しており、特に20～29歳で高くなっています

女性年齢別(20～49歳)完全失業率の推移



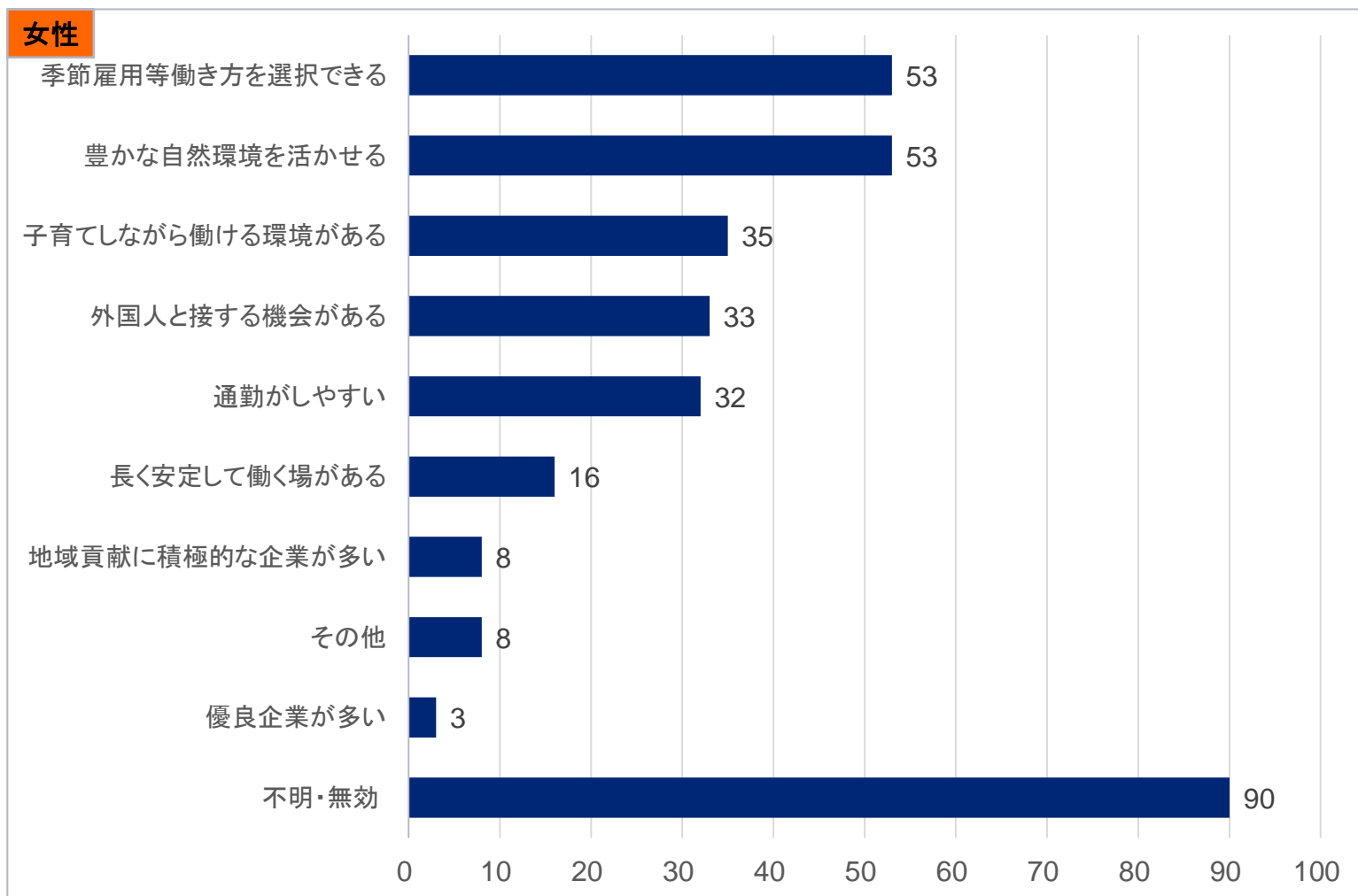
■ 女性の中でも20～29歳の完全失業率が高く、特に2005年から2010年にかけて、大幅に上昇しています

※参考値：20歳～24歳女性の完全失業率 全国 8.7%、北海道10.3%(いずれも2010年のデータ)

出所：国勢調査(1985年～2010年)

【男女別】女性が働きやすいと感じる理由としては、「季節雇用等働き方を選択できる」、「豊かな自然環境を活かせる」が最も多くなっています

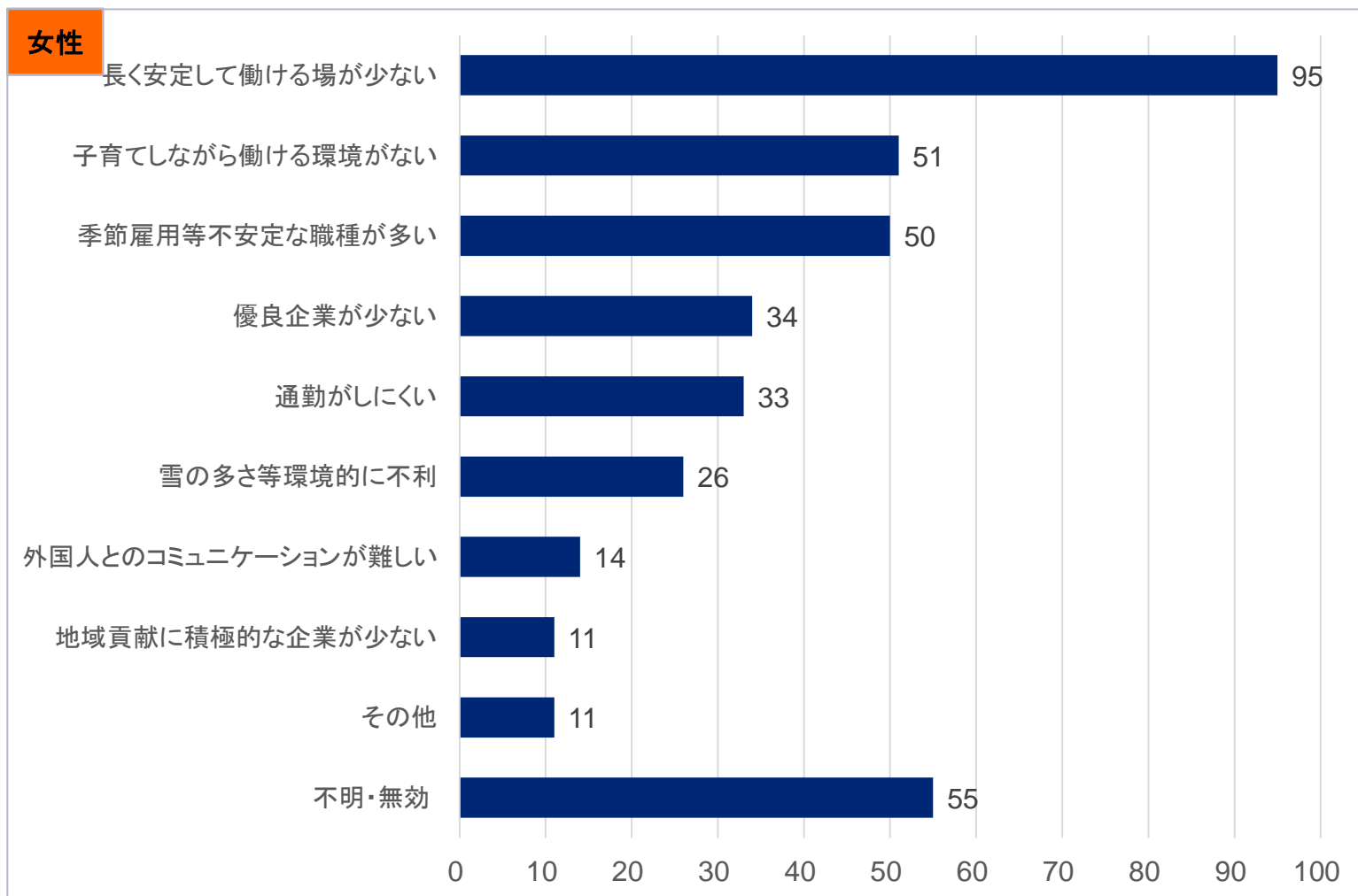
【女性】ニセコ町が働きやすいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート(日本人向け)

【男女別】女性が働きにくいと感じる理由として、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多く、次に「子育てしながら働ける環境がない」が多くなっています

【女性】ニセコ町が働きにくいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート(日本人向け)

それでは意見交換を行いましょう！

はじめに、自己紹介をしましょう！！

まず、あなたの

- * 1. お名前
 - * 2. 出身地
 - * 3. ニセコ町在住年数
- を聞かせてください！